



## (2) 実験プラント

最初沈殿池を高速ろ過システムに代えた実験系、従来の最初沈殿池を用いた対照系の2系列の標準活性汚泥法の実験プラント（処理能力：64m<sup>3</sup>/日×2系列）を用いて、年間を通じた連続運転を行い、以下の項目について検証する。

- ① 高速ろ過システムによる水処理への影響  
（同一 HRT での処理水質、最終沈殿池での固液分離性能、汚泥発生量などの比較）
- ② 反応タンク流入負荷軽減による処理能力増強  
（実験系反応タンクの HRT を短縮し、処理水質などを対照系と比較）
- ③ 高速ろ過システムの処理性能  
（ろ過速度を変化させ、晴天時におけるろ過速度と SS 除去率の関係などを把握）
- ④ 高速ろ過システムによる雨天時水量増加対応  
（雨天時に流入水量を増加させ、実験系と対照系の処理水質などを比較）

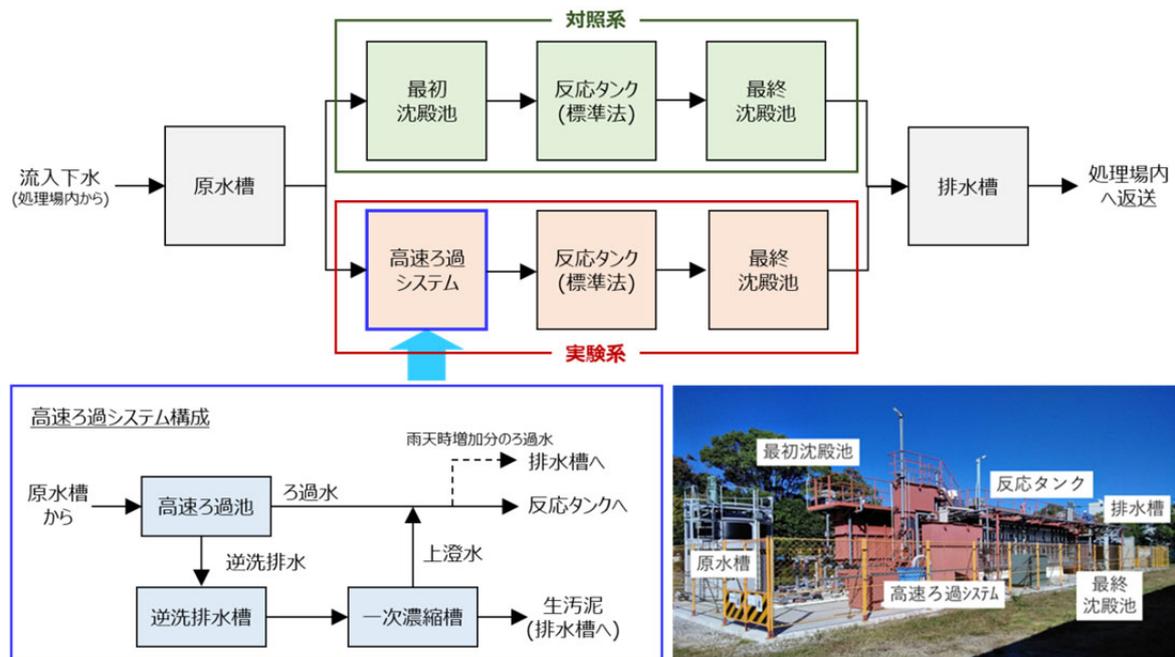


図2 実験プラントの概略フローおよび外観全景

### 【問合せ先】

日本下水道事業団 技術戦略部 技術開発企画課

電話：03-6361-7849 FAX：03-5808-1828

メタウォーター株式会社 営業本部営業企画室 営業支援グループ

電話：03-6853-7340 FAX：03-6853-8714

[R2.3.27 作成]